

令和4年度 第3回 静岡市スポーツ推進審議会 会議概要

- 1 日 時 令和4年10月6日（木）14時00分から16時00分まで
- 2 場 所 静岡市役所 静岡庁舎新館9階 特別会議室
- 3 出席者 【委員】（敬称略）
木宮 敬信、森福 研一、祝原 豊、小長谷 忍、大島 友佳里、
片桐 晶子、内川 麻衣子、米澤 恵里子、中地 良成、
早川 雅美、山瀬 直子
【事務局】
（スポーツ振興課）
谷川参与兼スポーツ振興課長、木村課長補佐兼企画係長、榊原推進係
長、野崎施設第1係長、田村施設第2係長、宮川主査、太田主任主
事、高津（外郭団体交流研修職員）
（スポーツ交流課）
長澤参与兼スポーツ交流課長、加納参事兼課長補佐、山野井主幹兼ホ
ームタウン推進係長、笹本主任主事
- 4 欠席者 遠藤 知里、川上 健治、今泉 幸広、肝付 兼太
- 5 傍聴者 2名
- 6 議 事 （1）第2期静岡市スポーツ推進計画案について
（2）第2期静岡市スポーツ推進計画パブリックコメント案について

7 会議概要

司会（宮川主査）

<開会>

谷川参与兼スポーツ振興課長

<挨拶>

司会（宮川主査）

- ・会議成立（委員半数以上の出席により会議成立）
- ・会議の公開
事前の傍聴希望者：2名 傍聴を認める。＜異議なし＞
当日の会議録は、市のホームページに掲載、情報公開する。＜異議なし＞
- ・会議録署名人の選出 米澤委員＜承諾・異議なし＞
- ・配布資料の確認

議事（１）第２期静岡市スポーツ推進計画案について【資料１】

太田主任主事

資料１の説明

＜委員からの質問・意見＞

内川委員

基本方針２の柱２の指標値について、P27（体系図）では15,000人、P36（取組事業）では20,000人と記載されている。15,000人の方が正しい数値ではないか。

太田主任主事

15,000人が正しい数値のため、P36の数値を修正する。

森福委員

静岡市スポーツ協会とは静岡市体育協会と同じなのか。

木村課長補佐兼企画係長

R4.4月から名称変更した。活動内容に変わりはない。

木宮会長

前回と比べると文字サイズや雰囲気に変更されているが、基本的にはこのようなイメージで作るのか。

太田主任主事

今回の審議では、計画本編の内容を審議していただきたいが、意見・要望等があれば印刷製本を発注する際に業者へ依頼する。

木宮会長

前回の資料から施策体系図が変更されたが、それについての意見はあるか
（他の委員からの意見無し）

木宮会長

野球の話を審議したことはないが、プロ野球球団の創設を目指して野球のまちづくりをする方向性はあるのか

長澤参与兼スポーツ交流課長

はい。

議事（２）第２期静岡市スポーツ推進計画パブリックコメント案について

【資料２－１、２－２】

太田主任主事

- ・パブリックコメントの説明
- ・資料２の説明

<委員からの意見・質問>

木宮会長

何かご意見はありますか。資料２－１の図についてもよい表現やご意見があれば。

森福委員

「人間形成」は他に言葉がありそうな気がする。

木宮会長

一言で表現する難しさがある。

森福委員

「地域活動の活性化」は「支える」の方が近い気がする。

木宮会長

本来的には一対一の対応ではない。心身の健康にしても、心の健康は「みる」や「支える」も大きく含まれる。人間力はスポーツ実践からも生まれてくる。そう考えると、図の作り自体が難しい。

この図の表現はなくてはならないのか。「する・みる・支える」が融合するのはわかる。達成感や自己表現は、本来ならば３つが重なる部分ではないか。静岡型スポーツ・イン・ライフは「互いに融合し、循環する」ところが特徴だとすると、一対一の表現ではなく、互いが融合することで良さが生まれるので、そのような表現ができないか。

山瀬委員

すそ野の部分にある表現と山頂にある表現は、「する・みる・支える」の３つの全てを表す表現としては良いと思う。山頂とすそ野に対応する表現にすればわかりやすいのではないか。

木宮会長

例えば、トップレベルのスポーツを「みる」と市民レベルのスポーツを「みる」、それぞれ目的が違うという意味だと思うが、本当に違うのか。

木村課長補佐兼企画係長

もちろん、リンクしている部分もある。

木宮会長

地域活動の活性化はトップスポーツを「みる」ことでも生まれる。「支える」の充足感もトップレベルのスポーツだけではなく、市民の部活動を支えるでも生まれるだろう。

谷川参与兼スポーツ振興課長

皆様の意見を聞いていると、山頂の表現はそのままでもよいと思うが、すそ野の表現は心身の健康増進でまとめた方がよいかもしれないと思った。

木宮会長

循環を表現している矢印の中心に並べて記載してもよいと思う。

谷川参与兼スポーツ振興課長

わかりやすい表現にしたいため、意見を参考にしたい。

祝原委員

図の山頂の部分は、スポーツ庁が示す形を見ているのか、競技レベルとか成熟した時の上と下ということで認知しているのか確認したい。

谷川参与兼スポーツ振興課長

スタートの段階は、山頂が高くなればその分すそ野も広がっていく、トップレベルのスポーツが広がれば興味を持つ市民が増えることで、する・みる・支える機会が増える、というイメージがあった。

祝原委員

絵の組み方は変えない方がよいと思う。土台があって広がっていくイメージであればスパイラルしながら広がっているような表現方法もあるのではないかと思った。

米澤委員

「スポーツが持つ力とは」の記述に重複している単語（様々）もあるため、わかりやすい表現の方が良いと思う。資料1の同じところは文章量もあり、わかりやすいと思う。説明図も表現が分かりにくく感じる。

木村課長補佐兼企画係長

わかりやすい表現を検討し、修正する。

木宮会長

同じ部分に記載がある「2面性」の表現は他に出てくる表現なのか。

太田主任主事

資料1、計画の趣旨(P1)に記載がある

木宮会長

「2面性」は「表と裏」というイメージがある。個人と社会が「2面」に限られないと思うため、違和感がある。

木村課長補佐兼企画係長

表現を検討し、修正する。

内川委員

2つに限定しない方がよいと思う。

祝原委員

ホームタウンチームに静岡ガスの野球チーム（軟式）が入っていないが、静岡市と関係ないのか

長澤参与兼スポーツ交流課長

ホームタウンチームの概念は「トップリーグを目指しているか」で判断している。現在の判断では、資料1に記載された7チームをホームタウンチームとしている。1つの市でこれだけの数のチームがあるのは全国的に珍しい。

木宮会長

卓球チームについては、冊子を作成する時期には具体的になるのか。

長澤参与兼スポーツ交流課長

12月にリーグに本申請し、年明けにチームが立ち上がる予定。印刷に間に合えば掲載する。

太田主任主事

2月上旬までなら、成果品に反映させられる見込み。

長澤参与兼スポーツ交流課長

現在の想定なら間に合う。

木宮会長

本日、指摘があった点は根本的な内容というより表現の指摘であるため、最終的な修正・調整は事務局に一任してよいか。

(委員の意義なし)

以上ですべての議事が終了したので、議長の職を降り、事務局に進行をお願いする。

司会（宮川主査）

最後に事務局から事務連絡になります。

事務連絡

太田主任主事

・次回審議会は、令和5年1月19日(木)開催予定